

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

人と社会に豊かさを提供し、高い技術・サービスで恒久的な存続を追求

配当性向
40%

② 中長期の経営戦略

1. 新技術開発

ゼロ・クーリングシステムの深化、環境容器対応強化、HDPE成形技術確立、PFシリーズラインナップ強化、耐熱技術進化

3. 生産能力増強

新工場建設検討、グループ生産体制再構築、原価低減・納期短縮で外的要因に対応

2. 市場シェア拡大

ASBシリーズ・PFシリーズを武器に中南米・アジア・アフリカでの顧客開拓、Vision1普及、TSCアフターサービス強化

4. ESG経営推進

インド工場CO2排出削減、人材育成・職場環境整備、CSR調達ガイドライン、グローバル事業推進、ROE上昇

③ 対処すべき課題

① 容器市場の多様化対応

- ・容器寿命短期化への対応
- ・容器高付加価値化対応
- ・環境配慮型容器への対応

② 競争力維持の課題

- ・インフレ懸念・中国経済停滞への対応
- ・多品種・高難易度容器の効率生産

③ グローバル事業基盤強化

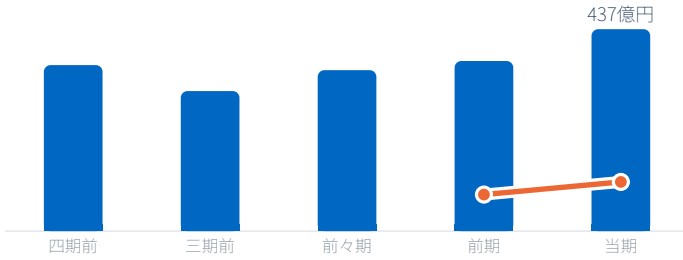
- ・インド工場でのCO2削減目標策定
- ・新興国市場での顧客開拓拡大

面接で使えるポイント

- ・1ステップ機の4ステーション方式とゼロ・クーリングシステムで複雑な容器成形を実現し、環境問題にも対応
- ・PETボトルの成形機で世界展開、インド工場化で原価競争力を強化しながらESG経営を推進
- ・機械・金型・成形技術の三位一体で顧客ニーズ対応、中南米やアジア・アフリカ新興国での市場開拓を加速

証券コード 6284

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
437億円営業利益率
24.4%財務健康度
85点 / 100点

要するに

PETボトルなどプラスチックボトル製造機械メーカ

主力事業・セグメント

- ・米州 32.3%
- ・South・Westアジア 29.9%
- ・Eastアジア 19.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率24.4%と高い収益性
- ・財務健康度85点と財務基盤が健全
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
802万円

機械内 38位/208社

平均年齢
42.9歳

機械内 89位/209社

平均勤続
14.3年

機械内 138位/209社

女性管理職
3.9%

機械内 89位/168社

男性育休
100.0%

機械内 17位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日精エー・エス・ビー機械(株)【6284】：決算情報

